

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第28週(ARIのみ第27週)の発生動向

全数報告の感染症 (28週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。4類感染症：デング熱1例。
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒1例、百日咳42例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	女	肺結核	咳
		都城	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	30歳代	男	肺結核	呼吸困難
		日向	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O157(VT2)
4類	デング熱	宮崎市	60歳代	男	デング熱	2日以上続く発熱、骨関節痛、発疹、海外渡航歴あり
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	ショック、肝不全、腎不全、その他
			80歳代	男	—	ショック、軟部組織炎、中枢神経症状
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕性梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	14例		3	9		2	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、白血球数増多
		都城	12例	1	3	7	1		
		延岡	4例			4			
		日南	7例			7			
		高鍋	4例		1	3			
		日向	1例			1			

定点把握の対象となる5類感染症

・第28週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は373人(定点当たり23.7)で、前週比112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病、伝染性紅斑であった。また、第27週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,262人(定点当たり45.1)で、前週比108%と増加した。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は53人(3.5)で、前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の1.7倍であった。年齢群別は4歳から9歳が全体の約6割を占めた。

【感染性胃腸炎】

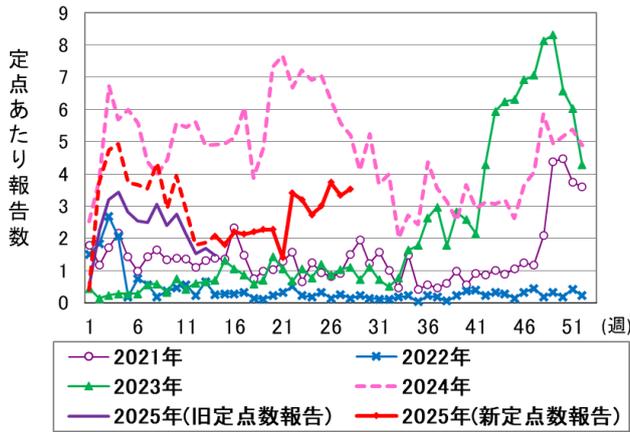
報告数は122人(8.1)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.7)の約1.2倍であった。年齢群別は2歳から6歳が全体の約半数を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は23人(1.5)で、前週比77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約3.0倍であった。年齢群別は3歳から7歳が全体の約7割を占めた。

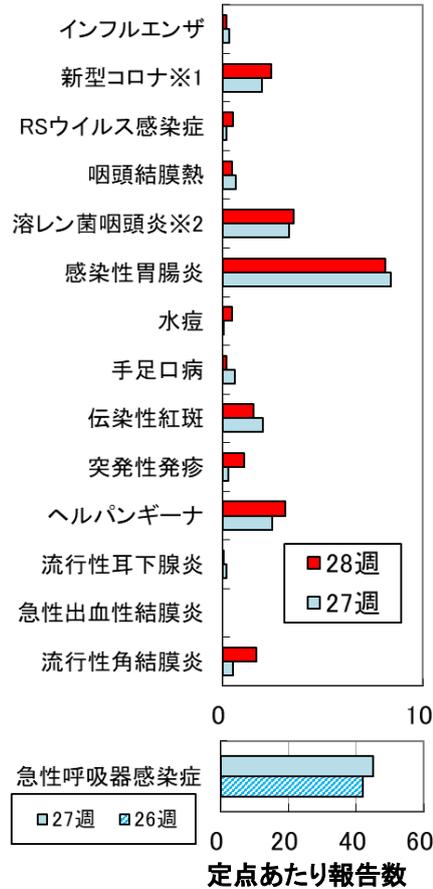
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



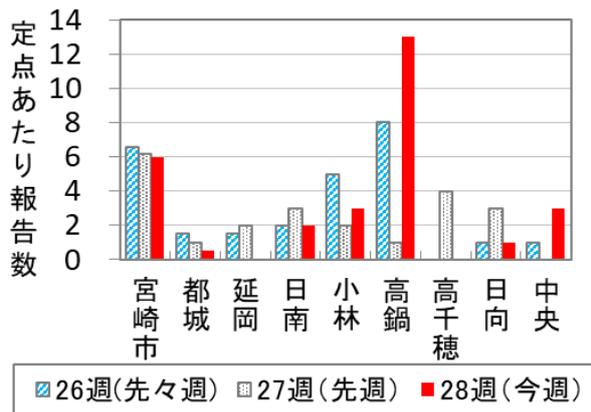
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

《前週との比較》

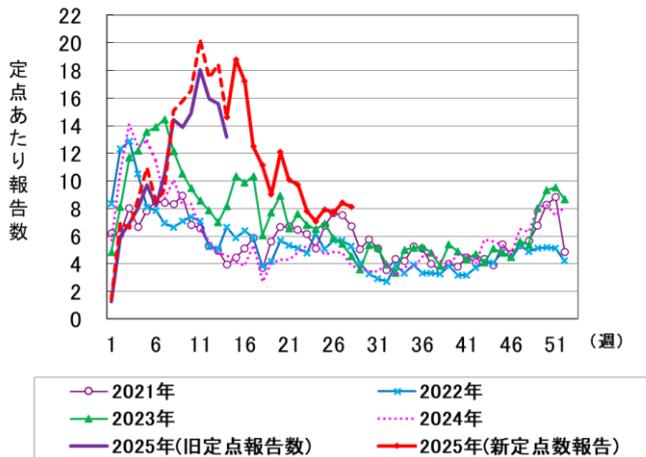


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

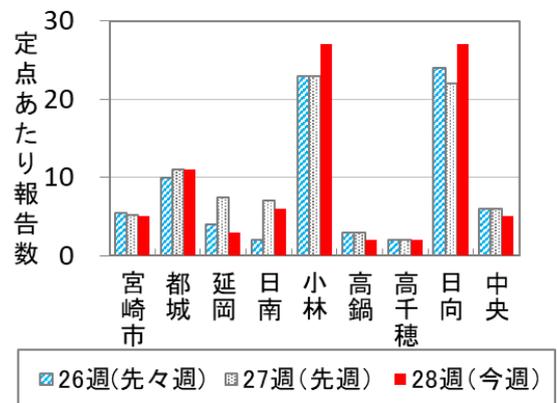


感染性胃腸炎 発生状況

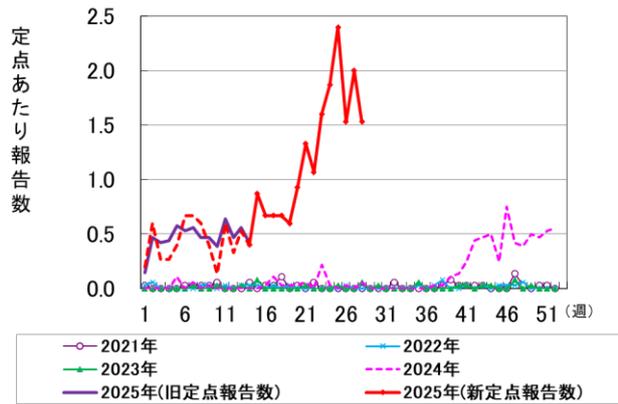


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

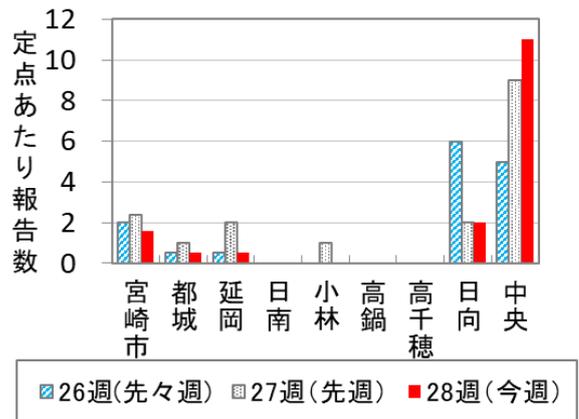


伝染性紅斑 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.3)で、いずれも宮崎市保健所から報告があった。年齢は0～4歳が1例、5～9歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.2)、ヘルパンギーナ(6.2)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(27.0)、水痘(1.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(27.0)、伝染性紅斑(2.0)
中央	伝染性紅斑(11.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第27週:6月30日～7月6日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		3	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	1	
	3型	1	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		2	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		1	
検出せず※2		7	
受付検体数		15	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2025 年第 27 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	239 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	91 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例
	コクシジオイデス症	2 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	11 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	45 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	13 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例	水痘(入院例)	12 例
	梅毒	199 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	3578 例	麻しん	7 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,565 人(2.4)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.6)の約 0.9 倍であった。栃木県(5.0)、愛媛県(5.0)、埼玉県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 5,474 人(2.3)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.6)の約 4.0 倍であった。山形県(5.9)、群馬県(5.6)、石川県(5.0)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

🇯🇵 月報告対象疾患の発生動向 <2025年6月>

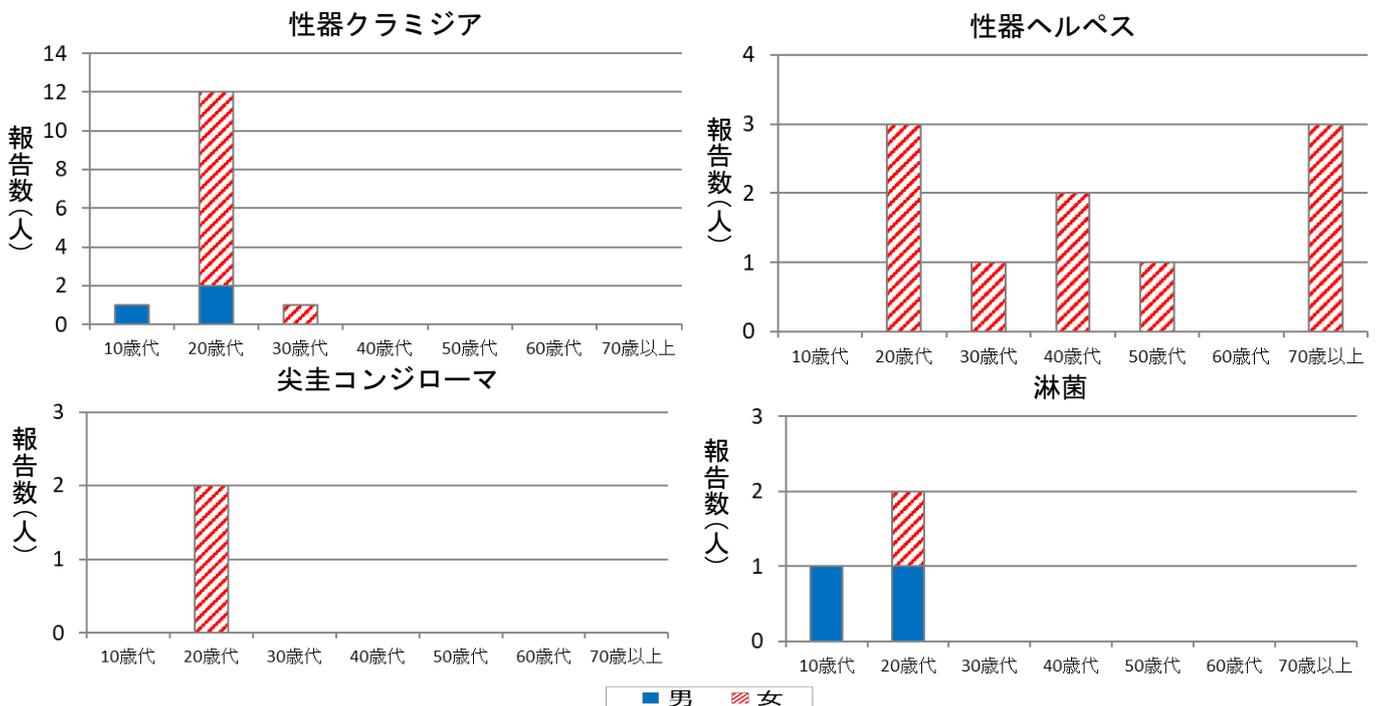
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比78%と減少した。また、昨年6月(3.1)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数14人(1.1)で、前月の約0.7倍、昨年6月の約0.6倍であった。
20歳代が全体の約9割を占めた。(男性3人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.1倍、昨年6月の約1.3倍であった。(女性10人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年6月の0.5倍であった。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月と同率、昨年6月の0.5倍であった。
(男性2人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,771人(4.9)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,545人(2.6)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症928人(0.95)で前月比106%、尖圭コンジローマ585人(0.60)で前月比113%、淋菌感染症713人(0.73)で前月比101%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人(1.6)で、前月比61%と減少した。また、昨年6月(3.6)の約0.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月の約0.6倍、昨年6月の約0.4倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,239人(2.6)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,192人(2.5)で前月比95%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症37人(0.08)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症10人(0.02)で前月比200%であった。

宮崎県 感染症情報

(41 定点医療機関)

2025年 第28週 (07月07日～07月13日)

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	9	6	5					1			
	定点当り	0.32	0.21	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	55	68	22	6	9	13	2	6	7	3	
	定点当り	1.96	2.43	2.44	1.50	3.00	6.50	1.00	3.00	3.50	1.50	0.00
RSウイルス感染症	報告数	3	8			1		4			3	
	定点当り	0.20	0.53	0.00	0.00	0.50	0.00	4.00	0.00	0.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	7	1	5				1			
	定点当り	0.67	0.47	0.20	2.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	50	53	30	1		2	3	13		1	3
	定点当り	3.33	3.53	6.00	0.50	0.00	2.00	3.00	13.00	0.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	126	122	25	22	6	6	27	2	2	27	5
	定点当り	8.40	8.13	5.00	11.00	3.00	6.00	27.00	2.00	2.00	27.00	5.00
水痘	報告数	1	7	6				1				
	定点当り	0.07	0.47	1.20	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	9	3	1	1	1						
	定点当り	0.60	0.20	0.20	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	30	23	8	1	1					2	11
	定点当り	2.00	1.53	1.60	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	11.00
突発性発しん	報告数	4	16	5	1	5	2	3				
	定点当り	0.27	1.07	1.00	0.50	2.50	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	37	47	31	1	6	1	2			1	5
	定点当り	2.47	3.13	6.20	0.50	3.00	1.00	2.00	0.00	0.00	1.00	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.20	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	10	7	3							
	定点当り	0.50	1.67	2.33	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	2	2								
	定点当り	0.29	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第27週 (06月30日～07月06日)

		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1172	1262	419	121	133	63	127	58	101	148	92
	定点当り	41.86	45.07	46.56	30.25	44.33	31.50	63.50	29.00	50.50	74.00	46.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～28週 保健所受理分)

2類感染症	結核	67例(6)										
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例(1)									
4類感染症	E型肝炎	2例		A型肝炎	1例		重症熱性血小板減少症候群	2例				
	つつが虫病	8例		デング熱	2例(1)		日本紅斑熱	13例				
	レジオネラ症	4例										
5類感染症	アメーバ赤痢	2例		ウイルス性肝炎	1例		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例				
	急性脳炎	2例		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11例(2)		後天性免疫不全症候群	2例				
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例		侵襲性肺炎球菌感染症	18例(1)		水痘(入院例)	2例				
	梅毒	78例(1)		播種性クリプトコックス症	1例		破傷風	1例				
	百日咳	1,160例(42)										

()内は今週届出分、再掲